

輸出事業計画

※申請者名：有限会社道前商店、

品目：ボラ（卵、身）、アジ、サバ、養殖用飼料等（アジ/イワシ/サバ）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

平成25年以降、10年以上にわたり輸出事業を展開しており、ボラ（真子（卵巣））は台湾に、魚肉・魚体はベトナム・アフリカ向け、サバは中国、ベトナム等へ輸出していたが、2020年からの世界的なコロナ感染拡大に伴う輸出物流の混乱、停滞及び処理水放出に伴う中国の水産物輸入禁止により輸出販売ルートの多くを失ってきた。

現在は円安の影響もあり、新たな輸出商流として、加工用原料としてのアジ、サバ、養殖などの飼料としてのアジ、サバ、イワシの輸出可能性が出てきた。

【課題】

（生産）

加工メーカーから原料調達先にもHACCP等の国際認証を求めてられており、原料調達先の競争相手の中国、インドネシアでは国際認証が進んできたとのことで、これら競争相手に対して国際認証を取得することが原料調達側にも求められることが喫緊の課題となっており、加えて、当社既存施設の改修では事業困難のため、施設の新設が必要となってきた。

（販売）

①既存取引先から、各卸先の輸出戦略として商品の品質向上がを目的とされており、今後の取引条件に国際認証の取得（ISO22000認証）が求められている。このことから、当社の冷凍施設にも早急な国際認証取得を実現する必要がある。

②販路開拓のため、現地加工場の実態調査等現地の市場情報の収集、分析を進める必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

【取組】

（生産）

既存施設の隣接地にHACCPに準拠した新たな冷凍加工施設（冷凍庫2室、急速冷凍室1室）を整備する。これにより、輸出向け食品用及び飼料用の区分保管が可能となり、生食用及び養殖飼料用の両方で輸出先国が求める施設登録を可能となる。「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」を持続可能とするため、施設整備後、令和11年4月頃までにISO22000の認証を取得予定。

（販売）

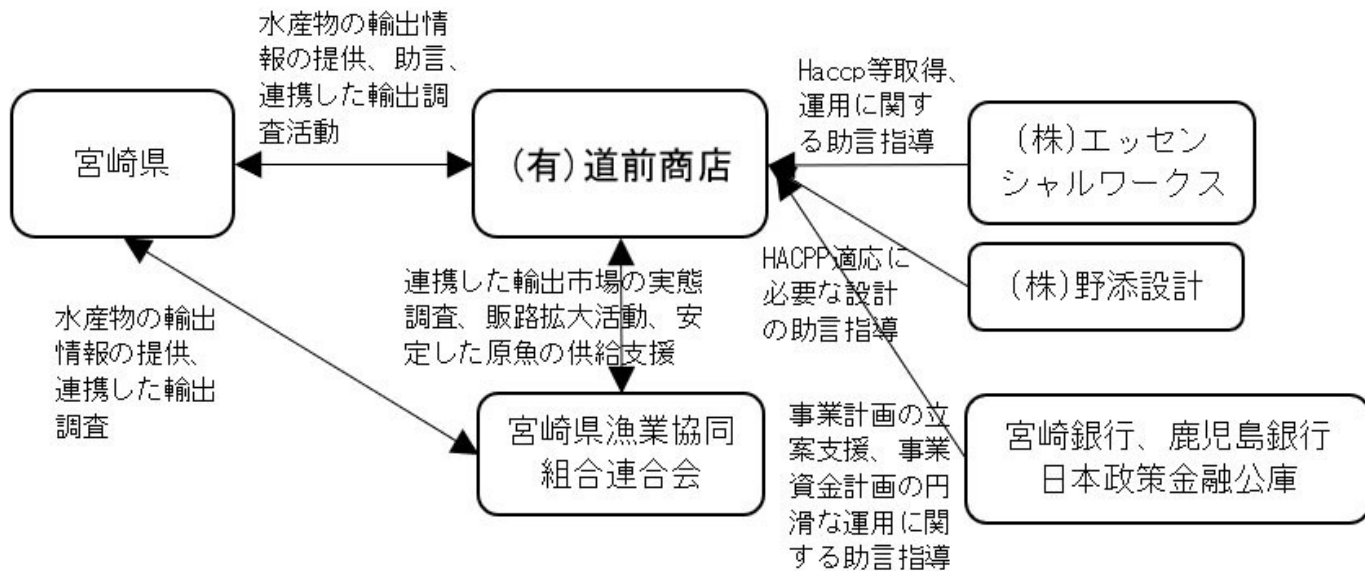
①当社は輸出実績（間接輸出）があり、かつ、当社に発注を要請している複数の既存取引先に対して、施設整備を進めながら、積極的な販路拡大活動（商談の場において、ISO取得により継続的な品質向上に取り組んでい居る事をPRする）を展開することとしている。

②輸出事業に関して緊密な連携を図っている宮崎県漁連からも生食アジや、台湾・韓国への養殖餌の輸出可能性に関する情報提供を求めるなど、引き続き連携を図っていく。

輸出事業計画

※申請者名：有限会社道前商店、
品目：ボラ（卵、身）、アジ、サバ、養殖用飼料等（アジ/イワシ/サバ）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

(輸出品目：ボラ(卵))

		現状 (令和7年5月期)	目標年 (令和14年5月期)	備考
宮崎県	輸出額(千円)	25,745	62,500	
	輸出量(kg)	10,410	25,000	
	輸出先国	台湾	台湾	
	取扱量(kg)	10,410	25,000	

(輸出品目：サバ)

		現状 (令和7年5月期)	目標年 (令和14年5月期)	備考
宮崎県	輸出額(千円)	0	5,880	
	輸出量(kg)	0	42,000	
	輸出先国	-	ベトナム	
	取扱量(kg)	0	1,100,000	

(輸出品目：ボラ(身))

		現状 (令和7年5月期)	目標年 (令和14年5月期)	備考
宮崎県	輸出額(千円)	10,510	15,000	
	輸出量(kg)	105,105	150,000	
	輸出先国	ベトナム	ベトナム	
	取扱量(kg)	214,105	259,000	

(輸出品目：養殖用飼料(アジ/イワシ/サバ))

		現状 (令和7年5月期)	目標年 (令和14年5月期)	備考
宮崎県	輸出額(千円)	0	42,000	
	輸出量(kg)	0	700,000	
	輸出先国	-	台湾、韓国	
	取扱量(kg)	1,127,000	3,650,000	

(輸出品目：アジ)

		現状 (令和7年5月期)	目標年 (令和14年5月期)	備考
宮崎県	輸出額(千円)	3,480	20,300	
	輸出量(kg)	24,000	140,000	
	輸出先国	ベトナム	ベトナム	
	取扱量(kg)	73,000	325,000	